

TYPE OF INDUSTRY



情報通信研究機構

# NICT 先端研究

## Cinet

③

研究グループは、動画を観ている際に脳がどう動いているかを解明する研究を行っている。私たちは、日常生活やテレビを見ているときなどに、人や車、海などの非常に多様な内容を瞬時に知覚することができる。客観的な「もの」の区別だけでなく、「かわいいネ

人間の脳情報処理で最も研究が進んでいる分野は視覚だ。眼の網膜に映った像の情報は脳の視覚野と呼ばれる部位に伝達され、さまざまな像の特徴が脳内で情報処理される。脳情報通信融合研究センター(Cinet)の研究

鳴断層撮影装置)で計測し、体験内容と脳活動の関係を説明する予測モデルを構築している。この研究は、人の脳がどう世界を認識しているかを理解するだけでなく、人と同じような体験を生み出す脳機能解析するため、動画を解析するための人工知能(MRI)機能共逆に、人間の脳活動を術はNICTデータに技

術転移され、2016年より商用サービスが提供されている。近年、脳活動を解読する研究分野には大資本の参入が相次いでいる。17年3月には投資家でありスペースXやテスラの創業で著名なイーロン・マスク氏がニューラリンクを立ち上げた。4月にはフェイ

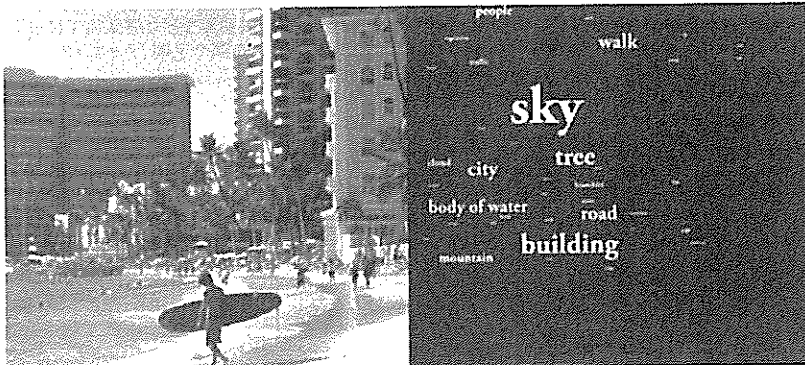
# 脳が見る世界を解読

脳情報通信融合研究センター主任研究員 西本 伸志

2000年阪大基礎工飛び級中退、05年同博士課程修了。米カリフォルニア大バークレー校で7年間勤務後、13年より現職。脳内情報表現の定量的理解に関する研究に従事する。



読装置の開発を、5月にはソフトバンク傘下のチームが脳埋め込みチップを発表した。多様な脳計測に当センターの成果が生かされる。AIの実現に貢献する(火曜日に掲載)



動画(左)を見ている時の脳活動から知覚内容を推定した右。文字の大きさが推定の確信度を示す(図はHuth et al., 2016 Front. Syst. Neurosci. から引用)

科学技術・大学